

ヒーローズ塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。

7月予定

1	火	
2	水	
3	木	夏期面談スタート
4	金	
5	土	中3補習③
6	日	休校
7	月	新教室稼働
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	休校
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	▼
19	土	
20	日	休校
21	月	夏期講習第1週
22	火	夏期講習第1週
23	水	夏期講習第1週
24	木	夏期講習第1週
25	金	夏期講習第1週
26	土	指名補習・自学自習
27	日	休校
28	月	夏期講習第2週
29	火	夏期講習第2週
30	水	夏期講習第2週
31	木	夏期講習第2週

勉強に部活に一生懸命、取り組んでいることと思います。特に中3生は、最後の大会を間近に控え、勉強そっちのけで部活にのめり込んでいるなんていう生徒さんも多いのではないのでしょうか。そうすると心配になるのが勉強面です。塾の授業でも、この時期の中学生は疲れているためか、居眠りをしそうになっていたり、集中していない生徒さんの姿が目立ちます。このようにして、勉強内容が抜けがちになる今日この頃ですが、心配はいりません。抜けた内容の多くは、夏期講習中に取り返すことができます。また、抜けが少ない人は、夏期講習中にさらに学力を伸ばすことができます。それぐらい、夏期講習は熱いのです。

2014 夏期講習について、7月3日より夏の個人面談行います。

別紙のとおり、夏休みの過ごし方を含めた個人面談を行います。中学生以上は生徒さんも含めた3者面談で、面談ご希望日をご提出ください。とくに小6受験生、中3、高3受験生は夏の過ごし方がとても重要です。中3生は6月1日に受験した県模試結果も踏まえての取り組みが大切です。例年、来春の第1志望校合格者は夏期講習にて土台を作っています。（夏期講習受講率と第1志望校合格率は相関します。昨年夏期講習志望校合格率90.0%）なお、2014夏期講習概要はホームページにもアップしていますし、中学生以上には事前に個別に送付します。土台を作るためには量の必要で夏期講習内容は、中1・2生で通常授業の2～3ヶ月分、中3生では3～4ヶ月分に及びます。これだけの量を夏の間という短い期間に詰め込んでしまいます。内容・宿題・お盆夏休暇課題が濃い内容となり、この夏にため込んだ力を秋以降に放出することで伸びていくことができます。とにかく、この夏のがんばりが、今後の学力の伸びを決める最重要なものなのです。

教室を移転します。7月7日より新教室で。

2011年12月に開校し今年で3年目。もっと自習スペースを利用したい！というご要望もあり移転することにしました。場所は妹尾郵便局近くのわたなべ生鮮館を核店舗にする妹尾ドリームタウン内です。最寄のため電話番号などはそのままです。ご存知の方も多いと思いますが当ショッピングセンターは20時で閉門されます。よって、20時以降での送迎による駐車は塾の裏側になる中国銀行妹尾支店、または通りむかひの岡山信用金庫妹尾支店の駐車場をご利用ください。

生徒さんに思う、大学選びも成長の土台作り。

弊塾の高校生は今年、2人の受験生がいます。2人とも志望校は県外です。ここ最近、大卒就職は留学体験のある学生をとりたい、という意見があります。英語力もちろんあると思いますが、企業が評価するポイントは実は、英語ではなく、異文化の中で厳しい局面を乗り越えたかどうか？だそうです。大学選び（中学生では津

山などへ進学する生徒さんもあります(津山工専)は、実家から出て異文化に身をさらす、そこから見えてくる効用は「育った土地以外の文化を若い時に一度、吸収し異文化体験をすることはとても重要である。」ということらしいです。たとえば旅。旅の効用は日常からのかい離です。旅も異文化体験です。非日常を満喫するわけですが、長期旅行などとなると日常を懐かしいとさえ思うことがありませんか。生徒さんたちが入学をのために一人暮らしをする。下宿すると起きられなかった母親の声かけがもう聞こえない。うるさい「おかん」の声も聞こえない。懐かしいと思う瞬間でしょう。下宿すると自炊をしないといけない。洗濯も掃除も。夜、下宿に帰ってきて「腹がへった。」と言っても何も出てこない。そこから自分で買ったり、作ったり、「大学の授業にもまだ不慣れ、食事も作って洗濯もして生活するほうが勉強するよりもしんどい。」という声が多いのもうなずけます。ここで、初めて、今まで生活にかかわるすべてのことを外注していたのに気が付きます。つまり子供だったことに気がつくわけです。「うるさい」という母親の声は「懐かしい。」になり、感情は相対化される。当たり前だった「用意されている食事」も「食事が無い。」という事実も相対化されます。

人は自分の慣れ親しんだ文化圏にいと、慣れ親しんでいないという理由だけで、異文化のものを価値評価してしまうそうです。旅に出て得られる「違う」とか「理解できない」ものに対する驚きの経験は「絶対」(これしかないという思い)という感覚を緩和していき、いろいろなものに対して「そういうこともあるのか。」と絶対から相対への目を獲得させてくれます。このような相対化できる目を身につけると、「絶対これしかない。」という窮屈な思いから解放されます。どんなものでも相対化できる人間を欧州ではボン・サンスといい教養のある人間の条件としています。何事も相対化できる素養を身につけさせるためには異文化体験は重要だと思います。

県外での大学生活は親もとを離れ、生活を自立し異文化に接することによりボン・サンスを身につけ、一生の生き方に支える土台を与えてくれます。そんな教養のある人間を育てていきます。

新住所 岡山市南区妹尾 869-3

